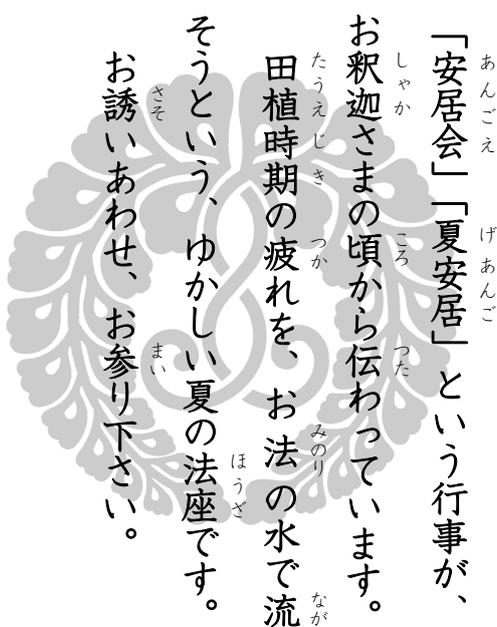


# 極楽寺だより

三隅下野波瀬 3633  
電話 0837(43)0625

## 夏法座のご案内

雨の季節には、仏さまの教えを聞き、静かにわが身をふりかえる「安居会」「夏安居」という行事が、お釈迦さまの頃から伝わっています。田植時期の疲れを、お法の水で流そうという、ゆかしい夏の法座です。お誘いあわせ、お参り下さい。



雨の季節には、仏さまの教えを聞き、静かにわが身をふりかえる「安居会」「夏安居」という行事が、お釈迦さまの頃から伝わっています。田植時期の疲れを、お法の水で流そうという、ゆかしい夏の法座です。お誘いあわせ、お参り下さい。

日時

六月二十九日(水)

昼一時半 夜七時半

六月三十日(木)

昼一時半

講師

秋芳町岩永 明厳寺 住職

中島 昭念 師

今年の親鸞聖人鑽仰会法会は、

九月十六日 午後・夜、

十七日 午後

当山極楽寺にて勤まります。

ご講師は、結城思聞師(元

フジテレビ・スポーツアナ

ウンサーの松倉悦郎さん)

をお招きします。

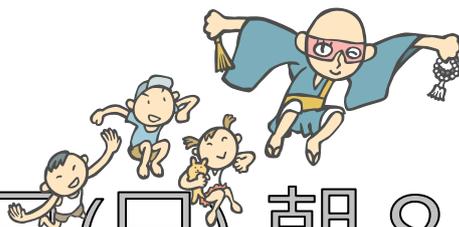
どうぞ、ご参拝下さい。

主催 三隅町親鸞聖鑽仰会



## お寺の子ども会、を再開しまッス!

長い間お休みしていました、「お寺の子ども会」を再開いたします。最近子どもたちも忙しく、日程調整もままなりません、とりあえずゆっくり、のんびりと始めたいと思います。夏休み期間中は、「宿題をやろうDay!」も随時企画いたします。



小学生なら、誰でも来てね!!

### 7月3日(日)朝8時45分から

内容 おつとめ・おはなし・ゲーム・お楽しみ企画

今年の7月30・31日と、仙崎を舞台に『真宗青年の集い山口大会』が開催されます。これは、真宗のみ教えをいただく若者たちが、全国だけではなく、海外からも集まってくる大会です。私も急遽スタッフとしてお手伝いすることになりました。(四十過ぎると青年ではなく、オジさんなのでは?)という声もありますが、まだまだ若輩者。それに気分はいつも青年! 単に子どもっポイということかも?)

仙崎が舞台というのは、金子みすゞさんの詩を通して、仏さまのこころに出遇うということがテーマだからです。イマどきの青年たちのハートをがっちりつかむような企画を考えながらも、単なる遊びではなく、そこに仏さまのこころを感じるものにできればと思います。

みすゞさんといえは、やはりその優しく暖かいまなざしですね。こんなところまで届いているのかと驚くほど、弱い者、無視されている者、切り捨てられる者へと注がれています。仏さまのまなざしのように。だから、そのまなざしに触れると、優しい気持ちになり、暖かな気持ちにもなります。

でも、ふと思うのです。「私が向いているのは、どんなまなざしなのか」と。

## 『みんなちがって、???』 ~ "まなざし" にこめられた "こころ" ~ 若院

今回の大会テーマは、あの有名な「みんなちがって、みんないい」(『わたしと小鳥とすずと』金子みすゞ)というフレーズですが、私自身の生活をふり返ると、

「僕には、僕の生き方がある。」

あいつには、あいつの生き方がある。

それはそうだ。

だから、あいつが何したって関係ない。

あれはアイツの自己責任。

僕のは、ほっといてくれ。

みんな違って、どうでもいい」

ということになっているような気がします。みすゞさんのまなざしに込められたこころをいただくこともなく、言葉のうわべだけで解釈しているのではないかと。

考えてみれば、私たちは阿弥陀さまの心(眞実信心)

をいただくことが大切なのだと、くり返し、くり返し、

先輩方から伝えられてきました。まなざしに込められた

こころをいただく。そのときには、当然私のまなざしが、

問い直されるのでしょうか。

この大会に関わることを通して、「私が向いているの

は、どんなまなざしなのか」と、もう一度わが身をふり返

る場としたい。そう思います。

合掌

2005 全国真宗青年の集い やまぐち大会

2005年7月30日(土)31日(日) 会場：ホテル西京・仙崎地区  
参加申し込み7月初旬迄 おたずね・お問い合わせは、極楽寺まで!!!